

平成30年度 公益財団法人こころすこやか財団 事業報告書 ～目次～

◆公益財団法人 こころすこやか財団の運営

理事会・評議員会の開催

◆公益事業 1：障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

- 一般相談支援事業/地域活動支援センター I 型事業/指定地域相談支援事業
 - 地域生活支援センター青明舎
- 指定計画相談支援事業
 - 特定相談支援事業所青明舎
- 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）/青森県障害者就業・生活支援事業
 - 障害者就業・生活支援センターみさわ
- 指定共同生活援助事業
 - こころすこやか財団グループホーム あおば・あおめ・あおぞら・あおみ
 - グループホーム青風荘
- 指定自立訓練（生活訓練）事業/宿泊型自立訓練事業
 - 障害者生活訓練施設青山荘
- 指定障害者就労移行支援事業（未実施）
 - 事業所名未定
- 指定（介護予防）認知症対応型通所介護事業
 - 結び家
- 指定居宅介護支援事業
 - ケアプランセンターまゆすい
- 認知症事例検討会
- メンタルヘルス事業

(2) 障害者・高齢者・認知症者に関する普及啓発事業

- 障害者の作品展示
- 障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催
- 高齢者・認知症者を対象とした介護予防等に関する講習会、健康教室等の開催
- 法人後見の実施及び成年後見制度利用に関する支援
- 県市町村その他関係機関に対するもの忘れ検診機器の貸し出しと講師派遣
- 関係団体と連携した認知症者の屋外徘徊を想定した模擬訓練の実施

◆収益事業 1

自動販売機等の設置及び不動産貸付事業及びレストランサービス事業

理事会・評議員会

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

【報告内容】

- ①理事会の開催

理事会を 3 回開催した

	開催日	議案
第 1 回理事会	5 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 29 年度 事業報告について承認を受ける件 ● 平成 29 年度 決算報告について承認を受ける件 ● 平成 30 年度 定時評議員会の招集について承認を受ける件 ● 平成 30 年度 第 1 回臨時評議員会の招集について承認を受ける件 ● 任期満了による次期理事について承認を受ける件 ● 収益事業の追加について承認を受ける件
第 2 回理事会	6 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表理事の選定について
第 3 回理事会	3 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 31 年度事業計画（案）について承認を受ける件 ● 平成 31 年度収支予算（案）について承認を受ける件 ● 平成 30 年度補正予算（案）について承認を受ける件 ● 就業規則変更事項について承認を受ける件 ● 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みについて承認を受ける件 ● 平成 31 年度役員等関連取引について承認を受ける件 ● 平成 30 年度第 2 回臨時評議員会の招集について

- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を 3 回開催した

	開催日	議案
定時評議員会	6 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 29 年度事業報告について意見具申と承認を受ける件 ● 平成 29 年度決算報告について意見具申と承認を受ける件 ● 任期満了による理事の選任について
第 1 回臨時評議員会	6 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 理事の報酬について
第 2 回臨時評議員会	3 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 31 年度事業計画（案）について意見具申と承認を受ける件 ● 平成 31 年度収支予算（案）について意見具申承認を受ける件 ● 平成 30 年度補正予算（案）について承認を受ける件 ● 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みについての承認を受ける件

◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 森 富茂子

【報告概要】

障害者及び家族からの来所相談・電話相談・訪問相談を行い、生活全般・医療・日常生活上の悩み事等へ、必要な情報の提供及び助言、解決を講じ、関わる機関との連絡調整やケース検討を行うことで解決に努めた。また、他事業所に情報提供や助言を行う機会もあり、八戸市においては、障がい者相談支援事業者連絡会議の運営に携わり、委託を受ける事業所としての役割を担った。医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談をされることも多く、各障害特性別の対応を心掛けた。また、在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が気軽に立ち寄れる環境作りを行った。そしてこれらを実施することで、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるように支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センターⅠ型事業
- ③指定特定相談支援事業（サービス利用支援・継続利用支援）
- ④指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

【報告内容】

①相談支援事業

1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・ピアカウンセリングに関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

必要に応じて、同行や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施した。

委託市町村へ、毎月実績報告書を提出した。

月	行動報告	
	支援内容	年間延べ利用件数
随時	訪問	395 件
	来所相談	2,457 件
	同行	60 件
	電話相談	1,184 件
	関係機関との連絡調整	1,324 件
	個別ケア会議	5 件
	訪問、来所、同行、電話相談等の対応	

2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え、相談支援事業が適切かつ円滑に実施されるよう、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。

新郷村では出張相談会を開き、青明舎まで来所が難しい地域の方の相談を受け付ける機会を設けた。また高齢者支援センター主催の地域ケア個別支援会議の参加要請があった。

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行う。
新郷村 出張相談会	6月、9月、12月、3月実施
高齢者支援センター主催 地域ケア個別 会議	2月22日高齢者支援センターみやぎ主催の地域ケア個別会議に参加。

3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）への参加

月	行動報告
4月27日 10月9日 12月7日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議事務局会議
5月31日 11月19日 1月10日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議

4) 入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方、各市町村が運営する住宅入居者に、必要な調整等の支援を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整、地域生活の支援、緊急時の対応・支援 ※登録者：9名 ※年間延べ利用件数：119件

5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について、各市町村と連携を取りながら支援するが、対象者がおらず実施しなかった。

②地域活動支援センターⅠ型事業

1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

月	行動報告	参加数
4月	活動室年間スケジュールの作成	
5月	ボーリング大会	9名
6月	根城城址ピクニック	5名
7月	すこやか祭り(本部)	20名
8月	冷たいスイーツを食べよう	6名
9月	卓球大会	11名
10月	ピザ作り	8名
11月	バトミントン大会	7名
12月	もちつき大会(本部)	23名
1月	おせち作り	6名
2月	カラオケ大会	7名
3月	桜餅作り	12名

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施した。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
12月10日	八戸学院大学にてサポーター養成講座実施。※参加者22名

4) ライフサポート

日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告	
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応、定期訪問	
通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急時対応 (オンコール)	
	支援内容	年間延べ利用件数
	入浴	234件
	洗濯	80件
	インターネット	11件
	食事作り	89件
	夜間電話	375件

③指定特定相談支援事業

サービス利用計画・障害児支援利用計画案等の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行った。

月	行動報告
随時	相談支援・サービス利用計画作成・サービス担当者会議実施・モニタリング実施・作成料請求業務

登録者数・実績表

月	新規(利用支援)	継続(継続支援)	新規登録者数	登録解除者数
4月	8名	17名	6名	1名
5月	6名	22名	5名	0名
6月	4名	15名	1名	1名
7月	3名	19名	4名	1名
8月	8名	20名	5名	1名
9月	3名	16名	1名	0名
10月	7名	13名	0名	0名
11月	8名	20名	4名	2名
12月	9名	18名	1名	0名
1月	8名	20名	3名	0名
2月	4名	20名	0名	0名
3月	8名	21名	2名	0名
合計	76名	221名	32名	6名

④指定一般相談支援事業

1) 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談に応じた。

月	行動報告
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・住居確保その他の地域生活に移行するための支援に関する相談 ・地域生活への移行のための外出時の同行 ・障害福祉サービスの体験利用 ・体験宿泊 ・地域移行支援計画の作成 ※登録者：1名 ※年間延べ利用件数：19件

2) 地域定着支援

居宅において単身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じた。30年度登録者は1名。

◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適合により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的として運営した。

【報告項目】

- ① 雇用安定等事業
- ② 生活支援等事業

【報告内容】

① 雇用安定事業

1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、職場実習の実施、事業所への説明、利用者への説明、短期職場実習制度の利用、求職活動支援、職場定着支援

2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	家庭・職場・実習先への訪問巡回、職場定着支援、利用登録の意志確認、在職者交流会

3) 目標件数の達成状況

*実習件数について、実習予定者の体調不良、準備性の不足などが重なり、職場実習のあっせん件数が目標値を下回った。

目標件数設定項目	平成30年度目標値	平成30年度達成値	達成率
支援対象障害者数(人)	310人	323人	104%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数(件)	25件	15件	60%
就職件数(件)	36件	33件	92%

4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

事業が円滑かつ効果的に行われるように関係機関と連絡を密にし、連携体制を構築した。
*通年で実施している就労支援業務に加えて、関係機関との会議出席や相談会の協力依頼などは年々増加している。

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

月	行動報告
4月27日	第1回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
6月15日	三沢地区障がい者就労支援連絡会総会参加
6月21日	第1回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
6月30日	第1回在職者交流会実施
7月20日	進路講話会（青森第二高等養護学校）参加
7月24日	上北地区特別支援連携協議会参加
7月27日～	四者面談（青森第二高等養護学校）参加
8月21日	センターみさわ登録説明（七戸養護学校）
8月25日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
8月28日	ジョブコーチ推進協議会
8月29日	職業センターセミナーへ講師として参加協力
8月30日	農福連携推進協議会
9月23日	第2回在職者交流会実施
9月14日	二高養進路講話会（1年生保護者対象）へ講師として参加協力
10月16日	障害者就職面接会後援、参加
11月7日	特別支援教育ビジョン説明会
11月16日	二高養フライハイ実施協力
11月22日	北海道・東北ブロック連絡会主催（県内全ナカポツが実行委員）
11月23日	第3回在職者交流会実施
11月29日	第2回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
12月9日	第4回在職者交流会実施
12月14日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
12月20日	上十三地区障害者雇用連絡会議参加
1月30日	十和田ハローワーク 障害者就職ミニ相談会 共催
2月18日～	ステップアップ講座（5日間）
2月27日	三沢ハローワーク 障害者就職ミニ相談会 共催
2月21日	第4回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
3月6日	アSENDハウスセミナーへ講師として参加協力
3月随時	移行支援会議（七戸、青森第二高等養護学校）参加
適宜	県内各障害者就業・生活支援センター事業連絡会議参加 特別支援学校生徒、企業実習の巡回協力実施 ハローワークとのチーム支援会議実施 三沢市障害者計画策定委員会
毎月	地域自立支援協議会（三沢市）参加

5) 啓発活動

月	行動報告
1月31日	優良事業所見学会（青森県労政・能力開発課共催）
2月2日	第8回上十三地区障害者就労支援セミナー後援
3月	障害者雇用モデル事例集作成（青森県労政・能力開発課共催）

② 生活支援等事業

1) 日常生活の自己管理に関する指導・助言

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

月	行動報告
随時	生活習慣の形成や日常生活の自己管理のための助言 健康管理や金銭管理等に関する指導・助言 保健医療機関、生活支援サービス利用の支援を実施

2) 地域生活に関する指導・助言

月	行動報告
随時	住居の確保や年金などの申請に関して助言 活用できる福祉サービスの利用調整を実施 就業後や休日における余暇活動について助言

3) 生活設計に関する指導・助言

月	行動報告
随時	長期的な視野での生活設計等について指導・助言 本人の自己選択・自己決定に関する助言

4) 家族、知人との関係の調整や緊急時の対応等の支援を行った。

5) その他就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

◆こころすこやか財団グループホーム

報告担当者 管理者 森 富茂子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「外部サービス利用型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ① こころすこやか財団グループホームの運営
 「あおぞら（定員：女性7名）」「あおば（定員：男性5名）」「あおめ（定員：男性10名）」
 「あおみ（定員：男性7名）」
 - 1) 個別支援計画の作成及び提供
 - 2) 関係機関との情報共有及び連携
 - 3) 生活の質の向上及び健康の維持
 - 4) 訓練等給付費請求・受領業務
 - 5) 生活費等の出納管理
 - 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理
 - 7) 外部サービス利用時の連絡調整
 - 8) 年間利用者状況
- ② グループホームの移転と利用開始
 - 1) 旧グループホーム移転し新グループホーム開所

【報告内容】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
 - 1) 個別支援計画の作成及び提供
 利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた個別支援計画を作成し提供するとともに、断続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
適宜	アセスメント
適宜	個別支援計画の評価・個別支援計画の作成検討会議
適宜	個別支援計画の作成と同意・提供

- 2) 関係機関との情報共有及び連携
 利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 サービス担当者会議・ケア会議の実施、参加

- 3) 生活の質の向上及び健康維持
 生活の質の向上と健康維持の為の援助を提供した。

実施月日	実施内容
H30年5月20日	日中想定通報・避難訓練
H30年10月21日	夜間想定避難訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談・建物管理・設備管理・環

公益事業 1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

	境整備・大掃除支援等
H30年10月11日 H30年10月19日 H30年11月1日 H30年11月24日 H30年12月15日	健康診断の実施及び同行、実施医療関係との連絡調整かかりつけ医への報告、再検査実施及び同行 ①健診実施・同行(5名) ②健診実施・同行(11名) ③健診実施(1名) ④健診実施・同行(1名) ⑤健診実施・同行(1名)
H30年10月 H31年3月	グループホーム便りの発行と郵送
H30年2月17日	バス外出・外食会(7名)

4) 訓練等給付費請求・受領業務
 サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連への請求及び代理受領 会計に関する諸記録の整備

5) 生活費等の出納管理
 家賃、水光熱費、その他日常に要する費用に関する金銭管理を行った。

実施月日	実施内容
毎月2日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

実施月日	行動計画
随時	訓練給付サービス支給更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

7) 外部サービス利用時の連絡調整

実施月日	行動計画
随時	個別支援計画に基づいた居宅介護支援事業所への依頼及び連絡調整 関係機関への情報提供等

8) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら 定員7名(女)			あおば 定員5名(男)			あおめ 定員6名(男)			あおみ 定員7名(男)		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H30.4月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
5月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
6月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
7月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
8月	0	0	6	0	1	3	1	0	6	0	0	7
9月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7
10月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7
11月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7
12月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

H31.1月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7
2月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7
3月	0	0	6	0	0	3	0	0	6	0	0	7
延利用者数計	0	0	72	0	1	40	1	0	68	0	0	84

②グループホームの移転と利用開始

- 1) 旧あおめ(八戸市田面木赤坂 26-7)を新あおめ(八戸市田面木赤坂 39-5)に移転し、8月から運営開始。

◆グループホーム青風荘

報告担当者 施設長 高橋昭徳

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「介護サービス包括型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同で自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう日常生活上において必要となる援助を行い、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

【報告項目】

- ① グループホーム青風荘の運営（定員 20 名）
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
 - 2) 個別支援計画の作成、ケアマネジメントの実施
 - 3) 関係機関との情報共有及び連携
 - 4) 健康管理
 - 5) 非常災害対策
 - 6) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
 - 7) 介護給付費請求・受領業務
 - 8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
 - 9) 余暇活動支援
 - 10) 年間利用者状況

【報告内容】

- ① グループホーム青風荘の運営
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整

1 日を通して日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を 24 時間体制で提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回りや家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

日中活動の場等関係機関との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～土	通所リハビリテーション青陽館、障害者生活訓練施設青山荘スタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

利用者・家族の現状やニーズなどを把握するためにアセスメント及びモニタリングを実施し、個別支援計画を作成し、それに基づいて適切なサービスを提供した。

実施月日	実施内容
------	------

随時（6ヶ月以内）	個別支援計画書の作成及び更新 個別支援計画作成検討会議
-----------	--------------------------------

3) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
H31年3月	苦情処理における第三者委員会の開催
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕（毎日）	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病者対象（1名）～血糖検査
H31年3月	頭部CT検査（20名）
H30年10月	胸部X-P（一般者20名）
H30年9月・H31年3月	定期採血（一般セット18名）
H30年11月	インフルエンザ予防接種（20名）
H31年2月	心電図（18名）

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H30年6月	避難誘導訓練（夜間想定）
H30年10月	自主避難誘導訓練（夜間想定）
H30年11月	避難誘導訓練（夜間想定）
H31年3月	自主避難誘導訓練（夜間想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等法定代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	国保連への請求・受領 会計に関する諸記録の整備

8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

9) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

利用者が高齢となっていており、身体的なこともあり外出レクの回数が減ってきています。

そのため今までは実施していない出前、ランチ外出、昼食会というレクを取り入れたことで利用者から「待ち遠しい」と好評を得ることができました。

月	行動計画
4月	お花見昼食会（施設内・ドライブ）
5月	昼食会
6月	誕生会
7月	ランチ外出・出前ランチ
8月	納涼会
9月	誕生会
10月	ランチ外出・出前ランチ
11月	誕生会
12月	クリスマス忘年会（施設内）・昼食会
H31年1月	新年会（施設内）
2月	昼食会
3月	ひなまつり・誕生会

10) 年間利用者状況（利用者数は毎月末日現在）

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30.4月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
5月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
6月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
7月	10	10	20	1	0	1	0	0	0
8月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
9月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
10月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
11月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
12月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
H31.1月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
2月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
3月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
計	117	120	237	1	0	1	0	0	0

◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 高橋 昭徳

【報告概要】

障害者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を行った。また、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供、地域連携に努めた。

【報告項目】

①障害者生活訓練施設青山荘の運営

(通所型生活訓練 定員 20 名 宿泊型生活訓練 定員 20 名)

- 1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施
- 2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施
- 3) 運営に関する会議
- 4) 関係機関との情報共有、及び連携
- 5) 生活の質の向上・維持
- 6) 生活費等の金銭管理
- 7) 訓練等給付費の請求及び受領業務
- 8) 年間利用者状況

【報告内容】

① 障害者生活訓練施設 青山荘の運営

1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施

利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて、利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき達成目標を設定し、サービス担当者会議を経て個別支援計画を作成した。個別支援計画書作成後、3ヶ月に1回以上定期的に個別支援計画実施状況の把握を行い必要に応じて個別支援計画の変更を行った。

実施月日	実施内容
随時	アセスメントの実施、個別支援計画の作成 モニタリングの実施（3ヶ月に1回以上）、個別支援計画の見直し

2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施

- ◆ 健康管理
- ◆ 食生活
- ◆ セルフケア（保清）
- ◆ 生活リズム
- ◆ 安全・危機管理
- ◆ 金銭管理
- ◆ すまい
- ◆ 掃除・整理
- ◆ 買い物
- ◆ 服装
- ◆ コミュニケーション
- ◆ 外出・余暇支援
- ◆ 運動

実施月日	実施内容
毎月20日	翌月のプログラム予定表を作成
毎日	各利用者に合わせて集団・個別プログラムを実施
H30.4、6、7月 H31.1月	公共交通機関を利用し外出プログラムを実施。

3) 運営に関する会議

利用者に関する情報の共有、連絡事項、支援内容の見直しなどについて会議内で検討した。

実施月日	実施内容
毎週	利用者に関する情報・連絡事項・支援内容の見直し等について所内会議を行った

4) 関係機関との情報共有、及び連携

利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供、及び医療、関係機関、家族との密接な連携を図った。

実施月日	実施内容
適宜	必要に応じて関係機関・家族への情報提供（家族交流会）、ケア会議の招集、ケア会議への参加

5) 生活の質の向上・維持

実施月日	実施内容
毎月	苦情処理委員会の開催
H30.9月・H31.3月	避難訓練（消防計画・報告書の提出）
	消防用設備の自主点検実施（専門業者に委託） 平成30年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票をH31年4月に消防署へ提出）

6) 生活費等の金銭管理

利用者・家族の希望に応じて生活費等の金銭管理等を行った。

実施月日	実施内容
適宜	新規利用者へ金銭管理方法を確認 事業所で通帳・印鑑・現金等を預かる際は、預かり証にサインを いただいてから預かった

7) 訓練等給付費の請求及び受領業務

毎月サービス利用費等を国保連へ請求する。また国保連よりサービス利用費の代理受領業務を行った。

実施月日	実施内容
毎月	サービス利用費等を国保連へ請求

8) 年間利用者状況

I. 「宿泊型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者数			訓練修了者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30.4月	10	3	13	0	0	0	0	0	0
5月	10	3	13	0	0	0	0	0	0
6月	10	3	13	0	0	0	1	0	1
7月	10	3	13	1	0	1	0	0	0
8月	10	4	14	0	0	0	0	1	1
9月	10	5	15	0	1	1	1	0	1
10月	9	4	13	0	0	0	0	1	1
11月	9	4	13	0	0	0	0	0	0
12月	11	4	15	2	0	2	0	0	0
H31.1月	11	4	15	0	0	0	0	1	1
2月	11	3	14	1	0	1	1	0	1
3月	8	4	12	0	1	1	2	0	2
計	119	44	163	4	2	6	5	3	8
年間平均利用数			13.5						

II. 「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者			訓練終了者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30.4月	9	2	11	0	0	0	0	0	0
5月	10	2	12	1	0	1	0	0	0
6月	10	2	12	0	0	0	1	0	1
7月	10	2	12	1	0	1	0	0	0
8月	9	3	12	0	1	1	1	0	1
9月	9	4	13	0	1	1	1	0	1
10月	8	3	11	0	0	0	0	1	1
11月	7	3	10	0	0	0	1	0	1
12月	9	3	12	2	0	2	0	0	0
H31.1月	9	3	12	0	0	0	0	0	0
2月	10	3	13	1	0	1	1	0	1
3月	8	4	12	0	1	1	1	0	1
計	108	34	142	5	3	8	6	1	7
年間平均利用数			11.8						

◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加のための就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に障害者の自立した生活を助長するため障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関する検討を行う予定としていたが、未検討となった。

【報告項目】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

【報告内容】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備
設置場所の検討、立ち上げスケジュールの作成、立ち上げ時期の検討を実施予定としていたが、グループホーム新築等により検討できなかった。

◆結び家

報告担当者 管理者 金澤一美

【事業概要】

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰り提供した。また自宅にこもりがちな利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とし事業に取り組んだ。更に若年性認知症者の支援にも力を入れ、若年性認知症サポートセンターゆえみとして、若年性認知症者及びその家族を対象としたサロン活動を実施し、当事者の仲間作りや悩み相談、そして家族の不安や悩み等の解消及び情報交換による心理的負担を軽減することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ① (介護予防) 認知症対応型通所介護事業の運営
- ② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業
- ③ スタッフ教育

【報告内容】

- ① (介護予防) 認知症対応型通所介護事業の運営

(1) 通所支援事業

1) 日常生活とのつながりを意識した認知症者の自立につながるサービスを提供した。

サービス提供日：月曜日～金曜日（年末年始は除く）1日定員：12名

月	利用者延人数	平均利用者数 (1日)	利用率 (月)	稼働率	登録者率
H30年4月	153	7.7	63.75%	95.63%	66.67%
5月	170	7.4	61.59%	96.59%	63.77%
6月	184	8.8	73.02%	95.83%	76.19%
7月	178	8.1	67.42%	85.17%	79.17%
8月	177	7.7	64.13%	79.02%	81.16%
9月	171	8.6	71.25%	86.80%	82.08%
10月	203	9.2	76.89%	87.50%	87.88%
11月	195	8.9	73.86%	91.98%	80.30%
12月	186	9.3	77.50%	96.88%	80.00%
H31年1月	205	10.3	85.42%	91.52%	93.33%
2月	194	9.7	80.83%	82.91%	97.50%
3月	195	9.3	77.38%	87.05%	88.89%
	延利用者合計	平均利用者数 (1日)	利用率 月平均	稼働率 月平均	登録者率 月平均
	2211	8.73	72.75%	89.74%	81.41%

H29年度比 2052名 H30年度比 2211名 △159名

(平成31年3月31日現在) 新規利用者11名 終結者6名

*今年度登録者数27名、曜日解除1名、終結者6名の為、26名での集計となる。

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

*実績に対する分析内容

今年度は、5・6・7・9・10・12・2月に新規利用あり。利用目的は、家族の介護負担の軽減・清潔保持、活動性を持たせたい、認知症の進行に伴い社会性を保持する事が困難になったためとなっている。介護度は要介護1～3内訳として当財団居宅から4件、他事業所から7件となっている。新規利用者11名。

新規利用に関しては、11名中8名の方が新規介護認定を受け、初めて介護サービスを利用されている。介護支援専門員からの相談にて利用、家族希望にて利用、認知症専門医の薦めにて利用。また、新規利用者2名の方の家族が青森県若年認知症総合支援センターに相談し、サービスに繋がった方もいる。

終結者は、6名で身体状況の変化により、他サービス移行、在宅での生活が困難の為、認知症対応型共同生活介護入所、他施設入所の為となっている。

上半期は、お盆や体調不良による休みによりキャンセルなどにより稼働率が低下している。下半期に関しては体調不良による休みによりキャンセル・急遽短期利用の為稼働率が低下している。利用相談は、結び家の特性を理解している現在利用されている利用者担当の介護支援専門員の件数が多かった。次年度も営業を継続し、安定した稼働率を目指していく。現在利用されている利用者の定期曜日以外での受け入れも検討していく。

【介護区分別】

区分 月	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計	月平均
	1	2	1	2	3	4	5		
H30年 4月	1		8	6	5			20	1.7
5月	1		9	5	5			20	1.7
6月	1		11	5	6			23	1.7
7月	1		12	5	6			24	1.2
8月	1		10	6	5			22	1.6
9月	1		11	7	5			24	2
10月	1		12	7	5			25	1.6
11月	1		13	6	5			25	1.7
12月	1		13	6	5			25	1.7
H31年 1月	1		13	6	6			26	1.6
2月	1		14	6	6			27	1.6
3月	1		13	5	6	1		26	1.7

年間平均介護度 1.7 (新規利用者 11名 終結者 6名)

2) 在宅生活を支えるための地域・家族交流の実施】

月	実施内容
H.30/4/1～	八戸シニアはつらつポイント事業でのボランティア受入継続。
9/4～9/6	グッジョブ受け入れ(三条中学校2名)
9/17	上長地区敬老会出席
H31/1/3	上長地区新年会出席

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

3) 安定した収入の確保（営業関係）

広報活動：医療機関、居宅介護支援事業所等への広報活動を実施した。利用相談は、結び家の特性を理解している現在利用中の担当介護支援専門員の相談が多かった。

月	実施内容
4～5月	市内居宅へ営業
5月～3月	現在利用中の居宅介護支援事業所へ営業（同居宅からの相談多い為） 実績時に空き情報案内・ホームページにて空き情報案内
3月	市内居宅へ営業
その他	外部研修・会議時の案内・営業

4) 運営推進会議

今年度は、利用の方と食事をして交流していただく良い機会となった。食事も美味しく好評で委員の方の中では他施設と比較する方もいた。

月	実施内容	参加人数
6/28	①H29年度下半期事業報告 ②認知症対応型通所介護に求めるもの・他通所介護の違い（介護保険課介護事業グループ主査兼介護支援専門員下平氏） ③高齢者支援センターの役割について（下長・上長地区高齢者支援センターはくじゅ久保沢氏） ④意見・質疑応答	7名
12/19	①H30年度上半期事業報告 ②利用者の方と食事会 ③意見・質疑応答	7名

(2) 相談支援事業

認知症高齢者だけではなく、若年性認知症及び認知症を発症した障害者の相談にも積極的に応じ、適したサービスを利用できるよう情報の提供を行った。他事業所と連携を図り、認知症者本人の豊かな地域生活につながるよう支援を実施した。

月	実施内容
H30年4月	利用相談1件 家族相談1件 利用中止相談2件
5月	利用相談3件 家族相談0件 利用中止相談0件
6月	利用相談2件 家族相談1件 利用中止相談0件
7月	利用相談2件 家族相談0件 利用中止相談0件
8月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談0件
9月	利用相談1件 家族相談1件 利用中止相談0件
10月	利用相談1件 家族相談1件 利用中止相談1件
11月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談1件
12月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談0件
H31年1月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談0件
2月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談1件
3月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談1件
合計	利用相談17件 家族相談4件 利用中止相談6件

*介護支援専門員からの相談件数は多いが、相談だけで他サービスや他施設入所等で実際に利用に繋がった方は11名。11名の中で2名の方の家族が青森県若年認知症総合支援センターに相談し、サービスに繋がった方もいる。

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業

1) 若年性認知症者及びその家族を対象としてサロン活動（すこやかサロン結喜）を月1回実施し、本人や家族の交流の場として、仲間作りや家族の精神的負担の軽減を図った。冬期間は参加されていなかったが、遠方の青森市から若年認知症者と家族が参加されている。家族間でのアドバイス、介護経験等を通じての助言や提案等もあり、学ぶことも多く、家族の方からは毎回のサロンが楽しいとの話しが聞かれていた。

月	実施内容	参加人数		
		家族	当事者	合計
H30年 4月14日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ・音楽鑑賞 家族:ヒバ袋犬・レジン/キーホルダー制作 / 談話 【メニュー】味噌汁・ご飯・エビフライ・焼売・ 野菜サラダ・卵豆腐・アメリカンドック	4名	3名	7名
5月12日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ・音楽鑑賞 家族:ヒバ袋制作/談話 【メニュー】冷やし中華・春巻・苺・柏餅	5名	3名	8名
6月9日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ・音楽鑑賞 フジケン季節館/八食センター見学 家族:ヒバ袋猫・/レジン・キーホルダー制作 /談話 【メニュー】カレーライス・サラダ・チョコ レートケーキ	5名	3名	8名
7月14日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/八食センター見学 家族:ヒバ袋ねずみ/レジン髪留め制作/談話 【メニュー】大葉とチーズの梅春巻・いんげ んの胡麻和え・豆腐とわかめの味噌汁・ごは ん	6名	3名	9名
8月25日 (第4土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ・音楽鑑賞 /市内中心部のはっちと街にわ見学 家族:ヒバ袋犬・猫/レジン髪留め制作/談話 【メニュー】ざるそば・天麩羅・茶碗蒸し・ スイカ	4名	3名	7名
9月8日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ・音楽鑑賞 ハンドメイト店見学 家族:ヒバ袋犬/レジン/キーホルダー制作 /談話 【メニュー】味噌汁・ご飯・えのきの肉巻き・ひ じき煮・きゅうりの浅漬け・いんげんのピーナ ツ和え	3名	3名	6名

月	実施内容	参加人数		
		家族	当事者	合計
10月13日 (第2土曜日)	十和田湖・新郷道の駅/食事/買い物 当事者・家族とも各々食事、買い物	4名	3名	7名
11月10日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ/音楽鑑賞 /資料袋詰め作業 家族:しめ縄制作/談話 【メニュー】ビーフシチュー・ロールパン・ ほうれん草胡麻和え・だし巻き卵・ワッフル	5名	3名	8名
H30年 12月8日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/八食センター見学 家族:ヒバ袋・ブーツキーパー/レジンキーホルダー制作/談話 【メニュー】ご飯・味噌汁・梅シソカツ・煮豆・柴漬け・シュークリーム	3名	3名	6名
H31年 1月12日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ/音楽鑑賞 家族:ヒバ袋ブーツキーパー/犬/レジンキーホルダーバッグチャーム制作/談話 【メニュー】クリームシチュー・ロールパン・ゴボウサラダ・バナナヨーグルトかけ	3名	4名	7名
2月9日 (第2土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ/音楽鑑賞/八戸公園内花観賞 家族:ヒバ袋猫/犬/ねずみ/レジンキーホルダー/バッグチャーム制作/談話 【メニュー】恵方巻き・いなり寿司・茶碗蒸し・お吸い物・お汁粉	2名	3名	5名
3月2日 (第1土曜日)	当事者:昼食準備/談話/テレビ/音楽鑑賞/八戸公園内花観賞 家族:ヒバ袋猫/犬/ねずみ/レジンキーホルダー/バッグチャーム制作/談話 【メニュー】押寿司・お吸い物・煮物・サラダ	3名	4名	7名

③ スタッフ教育

スタッフの質の向上を図る事で、サービスの質の向上につなげる。

月	形態	実施内容
4/14	勉強会	プライバシー保護、個人情報保護マニュアルについて
5/12	勉強会	認知症者の支援と基本的姿勢、認知症の基礎知識
5/18	法人研修	障がい者施設の防犯について
6/9	勉強会	食中毒感染予防対策について
7/6	法人研修	接遇研修
7/14	勉強会	身体拘束について
7/15	外部研修	シナプソロジーインストラクターセミナー（豊間根）
7/21	法人研修	地域で暮らしを支える生活支援サービス活動について
7/23~27	外部研修	青森県認知症介護実践者研修（豊間根）
8/25	勉強会	ターミナルケアについて
9/28	法人研修	発達障害について
10/4	外部研修	青森県認知症介護実践者研修報告会（豊間根）
10/27	法人研修	障がい者だって歳を取る～身近な将来の不安を考えよう
11/4	模擬訓練	行方不明高齢者への対応と捜索について、徘徊模擬訓練
11/4	外部研修	VR体験セミナー・認知症サポーター養成講座（河原木）
12/8	勉強会	ヒヤリハットに伴う事故防止対策・苦情対応について 感染症について
12/26	外部研修	青森県障害虐待防止擁護研修(金澤)
1/12	勉強会	高齢者虐待について
H31/1/25	法人研修	苦情への対応と虐待について
2/9	勉強会	倫理及び法令順守について
3/2	勉強会	接遇とコミュニケーション
3/9~11	外部研修	全国若年認知症フォーラム in 札幌（豊間根/松倉/荒川）

*次年度は、記録、伝達能力を身につけられるよう取り組んでいきたい。次世代のリーダーを育成する為に長期間をかけ育成していき、管理者研修、実践者研修等の研修に向けて取り組んでいく。スタッフが希望する研修は、参加し質の向上、サービスの向上につなげていく。送迎時の運転についても研修を取り組んでいき安全運転に努めたい。

◆ケアプランセンター まゆすい

報告担当者 管理者 田中 秀美

【事業報告】

介護を必要とする方が、居宅で適切にサービスを利用できるように介護支援専門員が心身の状況や生活環境、本人及び家族の希望等に沿ってケアプランを作成し様々な介護サービス事業所との連絡・調整を行い、適切なサービスが提供されるよう計画することで、居宅で自立した生活が送れるよう支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

1. 居宅介護支援事業所の運営
2. サービスマネジメントシステムの確立
3. 介護支援専門員としての人材育成

【報告内容】

1. 居宅介護支援事業所の運営
 - 1) 介護（予防）給付支援サービス
 - ①. 利用実績の管理
 ケアプランの作成、介護サービス提供事業所等との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い半年ごとに計画見直しを行った。

月別ケアプラン作成件数

介護度 月	要支援	要介護 1・2	要介護 3・4・5	合計	新規	終了
30年4月	8	41	26	75	0	0
5月	7	41	26	74	1	1
6月	8	43	27	78	2	1
7月	9	42	27	78	5	0
8月	9	44	29	82	4	0
9月	11	45	28	84	4	3
10月	12	45	27	84	2	5
11月	12	45	27	84	2	0
12月	17	45	31	93	8	1
31年1月	18	47	30	95	4	1
2月	21	47	30	98	3	3
3月	22	51	31	104	2	0
合計	154	536	339	1029	37	15

- ②. 利用者に関する支援内容を適切に記録した。

- ③. 認定調査委託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
5	5	5	9	9	9	9	9	8	10	9	9	
											合計	96

2) 運営上の透明性の確保と継続性

- ①2018年度介護サービス情報報告システム登録し情報発信を行った。
- ②在宅介護支援センターや関係機関と連携し新規利用者の獲得に繋げた。

2.サービスマネジメントシステムの確立

1) 利用者・家族の在宅生活の支援

- ①利用者が自立した生活を営むことが出来るよう十分な聞き取りを行い利用者のニーズを把握し支援を行った。
- ②入院・入所時は情報提供し、退院・退所時は情報を得よう医療機関・福祉施設等との連携を行うことで利用者の支援を行った。
- ③週1回居宅会議を行い利用者の情報を共有し、担当ケアマネが不在時でも対応を行った

3.介護支援専門員としての人材育成

- 1) 介護支援専門員としての資質向上、専門知識、技術向上を図ることでマネジメントの質の向上を図るために、色々な外部研修に参加している。

月	形態	実施内容
4/13	外部研修	患者の意向を尊重した意思決定のための研修会
4/14	勉強会	個人情報保護マニュアル
5/11	外部研修	緩和ケア概論・つらさの包括的評価と症状緩和
5/17	外部研修	八戸地域保健医療圏域における病院とケアマネージャーの入退院調整ルールの理解について
5/26	勉強会	ケアマネジメントプロセスの理解
6/1	外部研修	認定調査従事者新任者研修について
6/8	外部研修	がん疼痛の評価と治療
7/9	外部研修	呼吸困難・消化器症状（悪心・嘔吐）
7/25	外部研修	認定調査等研修会について
7/21	法人研修	地域で暮らしを支える生活支援サービス活動
9/14	事例学習会	ケアマネジメント事例学習会
9/1	外部研修	認知症 in あおもり～早期発見と医療連携～
9/8	事例学習会	課題整理総括表の活用について
9/21	外部研修	老計第10号の解釈と運用とリスクマネジメントについて
9/28	勉強会	退院・退所時加算について
10/19	外部研修	アセスメントと課題分析～課題整理総括表の活用～
10/22	外部研修	高齢者の低栄養問題について学ぶ
10/27	法人研修	障害者だって年をとる!
11/7	外部研修	在宅あるある。嘔吐の対応について
11/9	外部研修	八戸地区認知症疾患セミナー
11/10	外部研修	一連のケアマネジメントに求められる居宅介護支援経過記録等
11/16	外部研修	健康寿命はお口の健康から ～誤嚥性肺炎の予防のために～
11/18	外部研修	ごのへ認知症セミナー&健康まつり
11/26	外部研修	地域における認知症ケア研修

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

11/30	勉強会	ケアマネジメントプロセスの理解
12/17	外部研修	介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修
12/22	外部研修	八戸市医療・介護関係者他職種連携研修会
H31/1/16	外部研修	認定調査従事者現認者研修
1/25	法人研修	苦情の対応と虐待について
2/5	外部研修	青森県介護予防支援従事者研修会
2/7	外部研修	今さら聞けない認知症の基礎知識
2/15	事例検討会	在宅生活の見極めについて～独居の認知症者～
3/7	外部研修	食べて健康に。地元食材で生活習慣予防
3/13	外部研修	認知症サポート医地域支援強化研修会

◆認知症事例検討会

報告担当者 荒川 綾乃

【報告概要】

認知症になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要か、福祉専門職事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

【報告項目】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

【報告内容】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と事例検討会を実施。

1) 八戸市内の居宅介護支援事業所、高齢者支援事業所25施設47名が参加し、認知症の方への支援について検討会を開催した。

参加者は9グループに分かれ、困難事例に対する課題と解決策についてディスカッションを実施した。他職種・他グループの意見や、実際の対応を聞くことにより、既存の資源を活用するだけでなく、近所の方など地域を巻き込んだ支援の必要性等の新たな課題を見つけることができた。また、支援者同士の繋がりを深めることのできる貴重な機会となった。

実施月日	内容	参加施設	参加者数
2月15日 18:00 ～20:00	18:00 開会 事例検討会の趣旨説明、講師紹介	25施設	47名
	18:05 事例提供 「在宅生活の見極めについて ～独居の認知症高齢者～」 高齢者支援センターはくじゅ 松井氏		
	18:15 ディスカッション 「課題と解決策について」		
	19:15 検討内容の確認（グループ発表）		
	19:45 実際の対応について 高齢者支援センターはくじゅ 佐々木氏		
	20:00 閉会		

◆ 青森県若年性認知症総合支援センター

報告担当者 荒川綾乃

【報告概要】

若年性認知症に対する認識が不足し、診断される前に症状が進行し社会生活が事実上困難となるケースや、本人やその家族、企業及び医療機関が若年性認知症を知っていても、活用が可能な福祉や雇用の施策があまり知られていないことなどから、経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難になりやすいことが指摘されている。これらの問題を解消し、若年性認知症の一人ひとりが、その状態に応じた適切な支援を受けられるようにすることを目的として運営した。

【報告項目】

- ① 若年性認知症総合支援センター事業の運営

【報告内容】

- ① 若年性認知症総合支援センター事業

1) 相談支援事業

若年性認知症の多岐にわたる相談のワンストップ窓口の開設し、訪問、来所相談、電話相談、相談会等にて以下の相談に応じる。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事

※必要に応じて同行や関係機関との連絡調整を実施。

	通常相談	継続相談	その他	単純問合せ	計
4月	2名		1名		3名
5月	2名		1名		3名
6月	8名		1名		9名
7月	9名				9名
8月	6名			1名	7名
9月	1名				1名
10月	5名		1名		6名
11月	7名		1名	1名	9名
12月	1名		5名	2名	8名
1月	5名		2名		7名
2月	5名		3名	1名	9名
3月	6名		3名		9名
合計	57名	0名	18名	5名	80名

(備考) 通常相談：64歳以下の相談

継続相談：初回相談64歳以下で現65歳以上の相談

その他：18歳未満65歳以上の相談

出張相談会

実施月日	実施内容
10月14日	平成30年度 若年性認知症相談会 in みさわ実施 (三沢市)
3月15日	平成30年度 若年性認知症相談会 in つがる実施 (つがる市)

2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議の実施

発症初期から高齢期まで本人の状態にあわせた適切な支援が図られるよう、医療・介護・福祉・雇用の関係者が連携する若年性認知症自立支援ネットワークを構築するための会議を開催した。

実績報告では、相談実績と若年性認知症リーフレットの配布状況を報告した。情報提供では、若年性認知症の概要と若年性認知症者の就労状況について、スライドと映像を用いて紹介した。情報提供を基に「若年性認知症者の就労」について協議を行った。

実施月日	実施内容	構成団体（12団体）
8月29日	平成30年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク会議実施 ・実施報告 青森県若年性認知症総合支援センター実績について ・情報提供 (1) 若年性認知症の概要についてはちのへ認知症疾患医療センター深澤隆委員 (2) 若年性認知症者の就労状況について 青森県若年性認知症総合支援センター 松倉典子コーディネーター ・協議内容 (1) 若年性認知症者の就労について	≪学識経験者≫ 弘前大学大学院 教授 ≪医療≫ 青森県医師会 認知症疾患医療センター ≪介護福祉≫ 青森県介護支援専門員協会 青森県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 ≪当事者関係者≫ 認知症の人と家族の会青森県支部 ≪労働施策≫ 青森労働局職業安定部職業対策課 青森障害者職業センター 青森産業保健総合支援センター ≪経済団体≫ 青森県商工会議所連合会 青森県商工会連合会 ≪市町村≫ 青森市高齢者支援課

3) 若年性認知症自立支援ネットワーク研修

若年性認知症の人に対する日常生活上の支援、就労上の支援等のために必要な知識/技術を習得するための研修を実施した。

若年性認知症自立支援ネットワーク構成員及び地域の障害福祉サービス従事者及び企業関係者等若年性認知症の人に対する支援に携わる者を参加対象としており、障害、行政、医療、高齢の分野より129名が参加した。一昨年と比較して、障害福祉サービス事業所の方の参加が9%→16%と上昇しており、障害福祉サービスの方々にも関心の高まりを感じることができた。

対談では、主に当事者より、初期の体調変化から診断に至った経過や診断後の生活について実体験を語っていただいた。講演では、名古屋市での取り組みとして就労支援の経過やポイント、当事者の居場所作り、支援における心構え等についてお話いただいた。

実施月日	実施内容
12月12日	平成30年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク研修実施 対談：認知症でも笑顔のまま 登壇者：名古屋市認知症相談支援センター 鬼頭史樹氏 若年性認知症当事者 山田真由美氏 講演：若年性認知症の方への支援～名古屋市の取り組みから～ 講師：鬼頭史樹氏

◆メンタルヘルスに関する事業

報告担当者 松倉 典子

【報告概要】

メンタルヘルスに関する事業を通して疾病発症を未然に防ぐことで、精神疾患発症の予防・早期発見・再発防止・社会復帰等の支援をする事で、心の健康を保ち、健全な地域づくりを行う事を目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①ストレスチェックの実施
- ②メンタルヘルスに関する研修会の開催及び講師の派遣
- ③その他のメンタルヘルスに関する事業

【報告内容】

①ストレスチェックの実施

労働安全法に基づき、ストレスチェックの実施対象となる者並びに企業及び法人等からの依頼により、ストレスチェックを実施した。

実施日	委託者	実施内容
2018年9月	医療法人青仁会	・実施及び集団分析 受検者：181名
2019年3月	社会福祉法人昭壽会	・ストレスチェック実施事前研修 2/21 14:30～16:00 ・実施及び集団分析 受検者：49名 面接指導実施：0名
2019年3月	社会福祉法人長老会	・実施及び集団分析 受検者：80名 面接指導実施：1名

◆障害者の作品展示

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者の創作した美術作品を公開する場を設けた。また、その美術作品を通して、地域住民やその他の方に対し、展示作品の説明、紹介を行い、障害への理解・認識を促進するため事業を行った。

【報告項目】

- ① 障害者の作品展示
- ② 作品見学会の実施
- ③ 作品の貸し出し

【報告内容】

- ① 障害者の作品展示
 - 1) 病気の症状等の現れともいえる作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めていただいた。
 - 2) すこやか会館での作品常設展示を実施

月	実施内容
通年	常設展示

- ② 作品見学会の実施
 - 1) 法人で行う各研修会を利用し、来場者に対して作品紹介・説明等を行なう事で、より障害者への理解を深めていただいた。
 - 2) 事前予約を受け、見学会を実施。

月	実施内容
4月12日	秋田県 緑ヶ丘病院 4名
5月4日	養護学校 美術教員 9名
6月27日	弘前大学医学部保健学科看護学専攻 学生 4名
7月12日	青森県立保健大学健康科学部看護学科 学生 7名
8月21日	青森中央学院大学看護学部 学生 4名
8月30日	社会福祉法人あーると 4名

- ③ 作品の貸し出し
平成30年度は作品の貸出は行わなかった。

◆障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する 研修会、講演会、イベントの開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域住民等の理解や協力を促進するために、イベントや講演会等を実施した。

【報告項目】

- ① 障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会を開催し、地域住民、公的機関等との連携、協働による地域福祉のネットワークづくりを推進する。
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講習会等の実施
- ③ 障害者、高齢者、認知症者への偏見を除去し、地域住民との交流を図るためのイベント等を開催

【報告内容】

①～③共通

障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会及び障害者、高齢者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講演会の実施並びに障害者、高齢者、認知症者への偏見除去・地域交流を図るためのイベント等を開催した。

1) 障害者、高齢者、認知症者を支援するための講座の実施

- ・認知症サポーター養成講座の実施。(キャラバンメイト2名登録)

地域住民等への認知症サポーター養成講座を実施。独自開催は田面木小学校のみで、他は八戸市より依頼を受け、講座を実施した。

実施日	講演内容	対象者
4月2日	認知症サポーター養成講座	青い森信用金庫職員 27名
7月19日	認知症サポーター養成講座	明治中学校3年生 26名
9月30日	認知症サポーター養成講座	ツクイ八戸江陽職員及び利用者家族 34名
10月17日	認知症サポーター養成講座	田面木小学校4年生 26名
2月12日	認知症サポーター養成講座	JR八戸運輸局職員 19名

- ・障害や疾病に対する理解促進、障害者の継続した地域生活の為の連携等を目的とした各研修会の実施

障害者サポーター養成講座は地域生活支援センター青明舎の自主開催で、他は依頼を受け実施している

実施日	講演内容	対象者
8月30日	障害福祉サービスについて	あおぞらクリニックデイケア職員5名
12月10日	障害者サポーター養成講座	八戸学院大学生徒 22名
1月29日	青森県居住支援協議会 居住支援セミナー	不動産・福祉・行政関係者 39名

- ・上十三圏域の障害者就業・生活支援センターとして関係機関からの依頼により講演を実施。

実施日	講演内容	対象者
7月25日	上北地区特別支援学校教育情報交流会分科会「障害のある人の就業・生活を支える」	特別支援学校教員約20名
8月29日	青森障害者職業センター主催意見交換会「精神障害者に対する支援の実施状況」	圏域内福祉サービス事業所職員
11月22日	北海道・東北ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会「精神科医療機関との連携について」	北海道・東北の障害者就業・生活支援センター職員約100名
3月6日	一般財団法人済生会主催精神障害者セミナー「障害者就労の制度と利用の仕方について」	圏域の障害者及びご家族約150名

2) 講演会の開催

実施月日	実施内容	参加者
7月21日	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「地域で暮らしを支える生活支援サービス活動～みんなで楽しくつながろう！あいらび末広楽市楽茶～」 <p>基調講演講師： 地域包括支援センター ふれあい（山形県山形市） 主任介護支援専門員 椎名 敏 氏</p> <p>NPO法人 こんにやく道場 代表 齋藤 淳 氏 営業部長 鈴木健也 氏</p>	一般参加 25名 スタッフ 30名
10月27日	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「障害者だって年を取る～身近な将来の不安を一緒に考えよう～」 <p>基調講演講師： 日本障害者協議会（JD）理事・企画委員長 白沢 仁 様</p>	一般参加 31名 スタッフ 30名

3) イベントの開催

実施月日	実施内容	参加者
7月28日	<p>◆すこやか祭り</p> <p>当法人所有の「すこやか広場」にてすこやか祭りを実施。</p>	①当事者47名 ②ボランティア8名 ③地域住民92名 ④ステージ発表者79名
12月23日	<p>◆もちつき大会</p> <p>田面木公民館を利用したもちつき大会の実施 当法人の活動紹介 地域住民、障害者、高齢者の交流の場の提供 障害者ボランティアによる運営補助</p>	①一般参加70名 ②障害者サポーター2名 ③田面木婦人会6名 ④八戸市社協ボランティア2名 ⑤障害者ボランティア10名

4) 認知症フレンドシップクラブ主催の「ラン伴2018」への参加

実施月日	実施内容
8月18日	主催：認知症フレンドシップクラブ 八戸市（結び家前）～岩手県一戸町 結愛サービス公社 認知症の人と伴に生きる社会を 目指し、認知症の人、家族、支援者、一般市民が協力しあい、1つの襻をつなぎながら、ゴールを目指すイベントに参加。 担当区間への参加チーム数8 当法人参加人数11名

5) 八戸市主催「認知症フォーラム」への参加

実施月日	実施内容
10月21日	八戸市委託事業 受託先・認知症の人と家族の会 フォーラム企画等に参加 当法人参加人数3名

◆介護予防

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

地域の方一人ひとりが健康維持について高い意識をもち仲間づくりをすることで、高齢者の閉じこもりを予防し、要介護状態になることを予防することを目的としていたが、平成30年度において、介護予防教室の依頼はなかった。しかし、市から依頼のあった認知症サポーター養成講座（障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催で報告）において、予防の重要性について講義内容に組み込んだ。

【報告項目】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施

【報告内容】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施
 - 1) 地域住民を対象とした介護予防教室の実施はなかったが、認知症サポーター養成講座を含め、機会がある都度、予防の重要性について講義内容に組み込み実施した。

成年後見制度の利用に関する支援

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、権利擁護の推進を図ることを目的とし、スタッフの後見人活動を支援した。

【報告項目】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援
- ② 成年後見制度利用相談支援

【報告内容】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援

「ぱーとなー青森」に所属する法人スタッフ1名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当
知的障害者 女性 60歳代	後見事務	H24.12.14	松倉

社会福祉士資格を有する職員に1名に対し、2018年度青森県社会福祉基礎研修Ⅰに参加。順次基礎研修Ⅱ・Ⅲを受け依頼のあった後見業務について、活動できる体制を作っている。

- ② 成年後見制度利用相談支援

成年後見制度利用に関係する相談を各相談支援機関事業所で受け付け、相談対象者が1件あった。

◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 佐々木由香理

【報告概要】

認知症の早期発見早期受診を目的として、もの忘れ検診機器の貸し出しを行うことで、もの忘れ検診をより普及した。

【報告項目】

- ① タッチパネル式もの忘れ検診機器の貸出
- ② もの忘れ検診機器の点検

【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出。
 延貸出台数：36 台（前年度 47 台）

月	実施内容			
6月	新郷村地域包括支援センター	もの忘れ検診	3日間	3台
7月	大鰐町保健福祉課 地域包括支援係	もの忘れ検診	2日間	2台
9月	三八五交通 株式会社	認知症予防事業	1日間	4台
	新郷村地域包括支援センター	もの忘れ検診	1日間	2台
10月	六戸町地域包括支援センター	もの忘れ検診	3日間	3台
11月	三八五交通 株式会社	認知症予防事業	1日間	4台
1月	三八五交通 株式会社	認知症予防事業	1日間	2台
3月	三八五交通 株式会社	認知症予防事業	1日間	2台

- ② タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
随時	タッチパネル機器とプリンタの点検

◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 小笠原 裕美子

【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちにすることが地域住民の目的であり、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同し徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では搜索と徘徊者への声掛けの仕方を学び、地域住民が見守りの担い手として活躍できることを目指した。

【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

【報告内容】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等を中心に、田面木まごころネットワークとして実施計画を立案し打ち合わせを行った。訓練当日は、洋野町地域包括支援センターからの視察があり、全体で86名の参加があった。

実施日	実施内容	備考
H30.6.22	田面木地区社協と事前会議日の調整	-
H30.7月	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H30.7.13	事前会議企画書提出	-
H30.8.27	田面木まごころネットワーク事前会議開催	参加者 29名
H30.10.9	各町内、関係施設・団体へチラシ・ポスターの配布	チラシ 120 ポスター30
H30.10.9	取材依頼 (5社)	-
H30.10.17	田面木小学校訪問	-
H30.10.22	講師事前打ち合わせ	3団体、座長
H30.10.24	田面木婦人会と炊き出しの打ち合わせ	-
H30.10.23	モデル徘徊者との事前打ち合わせ	4施設
H30.11.4	認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施	参加者 86名

※当日取材：デーリー東北

2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H30.10.17	田面木小学校 4年生対象に認知症サポーター養成講座実施

②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

・洋野町地域包括支援センターより「認知症徘徊 SOS ネットワーク訓練」を初開催するにあたりノウハウを学びたいとの依頼があり、田面木まごころネットワークのこれまでの活動や当法人としての関わりについて、資料を基に情報提供している。洋野町では、H30.9.21 に訓練を実施し好評のうち終了したと聞いている。また、洋野町地域包括支援センター担当者が当地区の認知症徘徊 SOS 模擬訓練の見学に来ている。

◆自動販売機等の設置及び不動産貸付事業及びレストランサービス事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

収益事業で収入を得ることにより、その収益の50パーセントを公益事業へのみなし寄付することで、公益目的事業の運営資金とするために事業を行った。

【報告項目】

- ① 自動販売機収入
- ② 公衆電話収入
- ③ 不動産貸付事業収入
- ④ レストランサービス事業収入

【報告内容】

① 自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎前	<ul style="list-style-type: none"> ・販売機周辺の清掃 ・入金確認

② 公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	<ul style="list-style-type: none"> ・集金 ・入金 ・電話機のメンテナンス
八戸市大字田面木字赤坂 26-7 グループホーム「あおめ」内 (H30年8月終了)	
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 グループホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

③ 不動産貸付事業収入

(1) 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> ・借主（医療法人青仁会）との打合せ ・入金確認

(2) 土地の賃貸借による収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 22-1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約内容の確認打合せ ・入金確認 ・支払確認
八戸市大字田面木字赤坂 22-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-1	
八戸市大字田面木字赤坂 24-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-4	
八戸市大字田面木字赤坂 24-5	

④ レストランサービス事業収入

提供事業所	実施内容
グループホーム 青風荘	・食数確認（毎週金曜日） ・請求書発行（毎月 5 日）
障害者生活訓練施設 青山荘	・入金確認（毎月 10 日） ・食材の買出し（毎週月・金曜日）